

## 会議概要（速報）

件 名	令和2年度 新潟市花育推進委員会	
日 時	令和3年2月4日（木）午前10時30分～正午	
場 所	食育・花育センター2階 講座室A	
出席者	委 員	岸本委員、坂上委員、須田委員、玉木委員、中野繁子委員、 中野優委員、八百板委員、横山委員 (欠席：青山委員、片岡委員)
	事務局	【食と花の推進課】坂井課長、岸本課長補佐、佐藤係長、春川副主査、 岩城栄養士、渡邊
概 要	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 令和元年度 花育推進事業の取り組みについて【資料1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次新潟市花育推進計画の令和元年度時点の数値指標および花育推進事業の実績について報告。</li> </ul> <p>(2) 令和2年度 花育推進事業の取り組みについて【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の花育推進事業の取り組み状況について報告。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、花の需要の低迷、イベントの自粛など、思うような取り組みができていないものの、昨年、各委員の皆さまから頂いたご意見を活かした取り組みを進めた。</li> </ul> <p>&lt;主なご意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値指標に「新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数」とあるが、講座は平日の昼間の開催が多いのか。参加者のターゲットを絞り、土日も開催できるとよい。</li> <li>・花育俳句は全国から応募があるが、新潟市民により働きかけられるとよい。とてもよい取り組みであるため、花育のPRにもっと活用してはどうか。</li> <li>・学校等の花育活動は栽培で終わっている。花育マスターが植え、子ども達が育て、育てた花を最後に学校や園、家庭で飾るところまでの活動ができれば花育の浸透につながるのでは。</li> <li>・小学校の卒業生にチューリップをいただき、感謝。「最後まで花を楽しむ」という意識を学校にも伝えられるとよい。</li> <li>・フルフルフラワーキャンペーンについて、認知度の低い層である若い世代の人は、紙媒体ではなく SNS を活用したクーポン等で手に入れられるとっと広がるのでは。SNS を通じて花に興味をもち、買いに来てくれる。</li> </ul>	

(3) 新潟市第3次花育推進計画の策定スケジュール(案)について

【資料3・4】

- ・第2次計画が令和4年度までとなっているため、令和5年からの第3次計画に向けて、来年度から策定を進めていく。  
現時点での策定スケジュール(案)を提示。
- ・今年度で委員の任期が終了するため、来年度以降の委員の選考について、今後事務局で検討を進める。
- ・新潟市における「花育」について再度見直し、課題を整理しながら本市が目指すべき内容を盛り込んだ第3次計画にしていきたい。

<主なご意見等>

- ・市の人口が減っている中で、花は新潟市の魅力の1つ。花が家にあると気持ちが安らぐ。コロナ禍でも新潟市では花がたくさんあって、楽しむことができる。
- ・メディアやSNSを活用し、花育について発信して、市民に親近感をもってもらう必要がある。
- ・食材も花も、生産者は生産しても利益が出なければ、捨てるしかないという現状。花を飾るのは高度なテクニックが必要なわけではなく、気軽に親しんでほしい。
- ・花の俳句を子どもに募集すると、花や景色、風、自然に目が行くようになる。学校全体に募集をし、学校ぐるみで取り組み、そこから花に興味を持ってもらうようにしてはどうか。

(4) 令和2年度花育俳句 優秀俳句選考について【資料5】

- ・778名から1,130句の応募あり。
- ・花育俳句の最終結果を報告。  
協議の結果、小学生の部12句、一般の部11句が優秀句として決定。
- ・全句は新潟市のホームページに掲載し、優秀句は3月の花育通信に掲載予定。

<主なご意見等>

- ・Instagramで俳句を投稿する等、気軽にお金のかからない方向で実施できるとよい。
- ・「新潟市らしさが入っている」という審査基準を設けてもよいのでは。

3 連絡事項

4 閉会

傍聴

なし

報道

なし